

シリーズ 三郷学

〈三郷学の視点⑬〉

三郷学の視点

8. 歴史に学ぶー市制施行 40周年に向けて



当時の三郷村役場

昭和31年、東和村・彦成村・早稲田村が合併し、三郷村が誕生しました。昭和39年に三郷村は三郷町、昭和47年5月3日市制施行により三郷市となりました。そして来年平成24年5月3日、三郷市は市制施行40周年を迎えます。そこで、これを大きな節目として、市民のみなさんとともに祝い、次世代へつなぐ、将来を展望できるような、「市制施行40周年記念事業」を予定しています。

10年単位で三郷の歴史をふりかえると、そこに新たな三郷の未来を予測させるビジョンが見えてく

ると思います。

平成23年は、8月28日開催のNHKのど自慢、9月25日開催の三郷学フォーラム、10月1日開校予定の放送大学三郷校の開校イベントなどを40周年プレ事業として予定しています。平成24年度は、misato style、かいちゃん&つぶちゃんマラソンなど毎年開催されている主要なイベントを40周年記念として開催する冠事業の実施や、記念式典、特別記念事業等の実施を検討する予定です。

また、今回の40周年記念事業の取り組みの一つとして、市民参加により特別記念事業やキャッチフレーズを企画提案する会議を設置しました。この会議において、ワークショップ形式で、魅力的な事業等を検討していきます。ワークショップは、参加者自らが体験でき、グループ内でお互いに学びあったり創り出したりするなどの機能を持っており、三郷学の基盤をなすツール(道具)でもあります。

これまでの三郷市の歴史を振り返り、再認識し、先人に感謝し、そして三郷の資源を活かして市民のみなさんの力を未来につなぎます。